

# 授業改善シート〔国語〕

校番(21) 福山市立駅家中学校

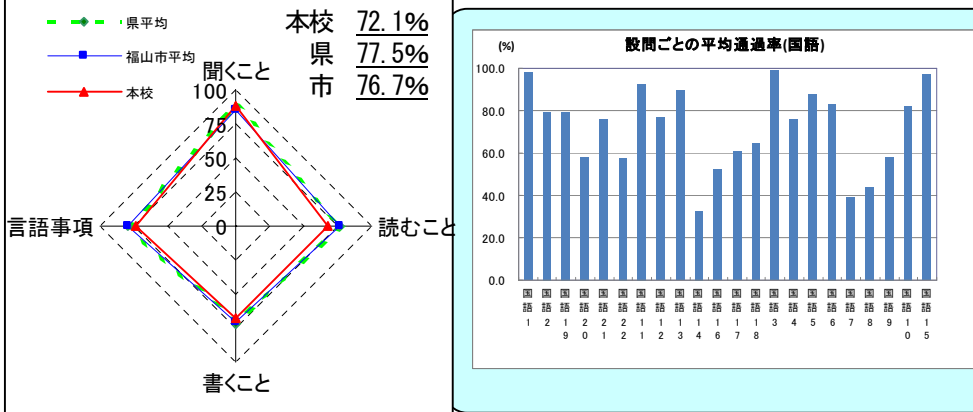
## 昨年度課題

- ① [◎] 言語事項 小学校での既修漢字の読み書きが不十分。単語の類別、文の組み立ての理解ができていない。
- ② [◇] 話す・聞くこと 効果的なスピーチをするための話し方、話の展開の仕方が十分理解できていない。

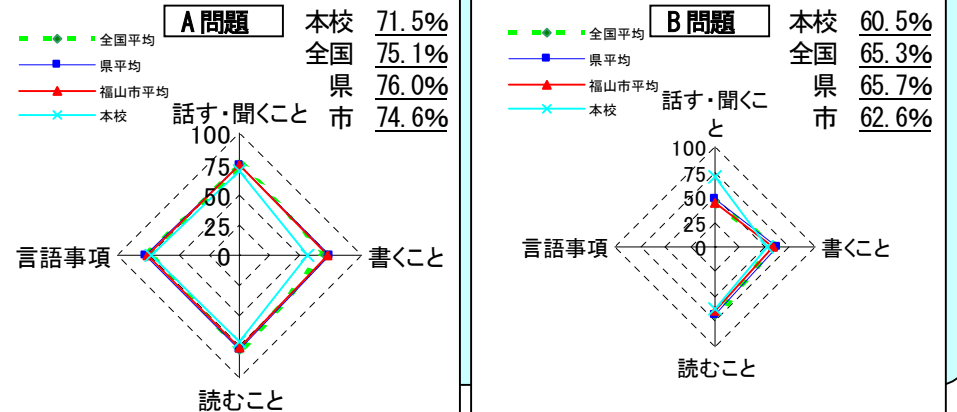
## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①漢字、文法の復習の徹底をはかる。日常的に辞書を引く習慣を身につけ、語彙を広げる。全学年、定期的に漢字テストを実施し、学習の定着を図る。
- ②授業の中で話す技術（「根拠をつけて発表するナンバリングを使う」など）を身につける。  
《本年度の目標値 全国学力・学習状況調査「言語事項」の正答率を来年度は75%まで引き上げる》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎情景や心情の描写から、登場人物の思いをとらえることに課題がある。(通過率 32.7%)
- ◎文の組み立てが理解できていない。(通過率 38.9%)
- ◇語彙が少なく比喩表現であるため、なおさら理解が困難である。(正答率 29.3%)

## 取組みの検証

- 時期 1月後半
- 方法 福山市調査問題
- 目標値 通過率を10%向上

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業・家庭学習）

### 【国語科】

- ①文学的文章の指導で、情景や心情の描写に注目させ、登場人物の心情をじっくり考えさせる。
- ②文の組み立ての理解を深めるために、練習問題を反復する。

### 【全校・他教科等】

定期テストにおいて、条件作文指導を行う。1分間スピーチを充実させる。

## 来年度の目標値

- 登場人物の思いをとらえる問題の通過率を10ポイント以上上げる。また、文の組み立ての問題の通過率を10ポイント以上上げる。

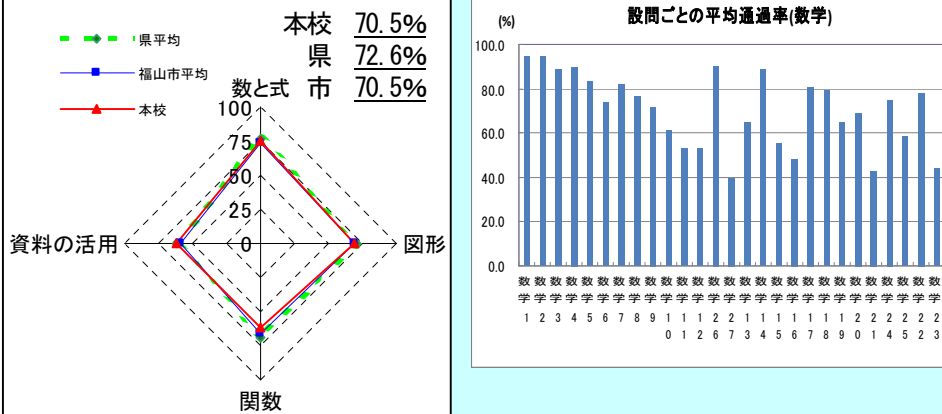
## 昨年度課題

- ①【◎】領域「図形」  
おうぎ形の弧の長さや面積、立体の体積の求め方が十分理解できていない。
- ②【◇】領域「図形」 基本的な図形の定理の理解が不十分である。問題の意味を正しく解釈する力がたりない。

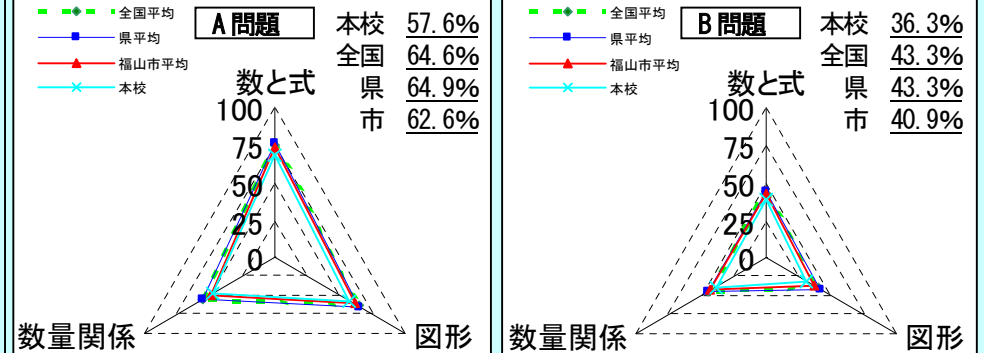
## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①練習プリントを作成し、授業中に定期的に補充学習をする。
  - ②定理をきちんと書けるように練習する。文章、資料の中から問題解決に必要な事柄を読み取る練習をする。
- 《本年度の目標値 県「基礎・基本」調査において「図形」領域の通過率を60%まで引き上げる。全国学力・学習状況調査において「図形」領域の通過率を55%まで引き上げる。証明に関する問題の無解答率を25%に引き下げる。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎文字式を読み取ることが弱い。(通過率 53.4%)
- ◎図形領域の基本的知識の習得が弱い。図形概念が定着していないことから、おうぎ形や円すいの求積の通過率が低い。(通過率 55.2%・48.3%)
- ◇ともなって変わる2つの数量の関係を式で表現したり、グラフを利用することに課題がある。(通過率 18.0% 25.6%)
- ◇図形領域の基本的知識の習得ができていないことから、円柱の求積の通過率が低い。(正答率 32.3%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

### 【数学科】

- ①各単元の確認テストに図形の基礎知識と文字式を読み取る問題を繰り返し出題する。
- ②月に1回の課題プリントで、図形の求積の問題に定期的に取り組ませる。
- ③授業の中で、用語の意味や、数量の変化の特徴をはっきりさせるとともに、論理的な説明をさせる質問を工夫する。

### 【全校・他教科等】

- ・1分間スピーチの時間を利用し、結論先行、根拠をつけた発表の仕方を徹底する。

## 取組みの検証

- 時期 10・12・1・2・3・4月 ○目標値 通過率70ポイント以上
- 方法 定期テスト・実力テスト

## 来年度の目標値

- ①図形領域の基本的知識と円すいやおうぎ形の求積の問題の通過率を10ポイント以上上げる。
- ②文字式を読み取る問題の通過率を10ポイント以上上げる。

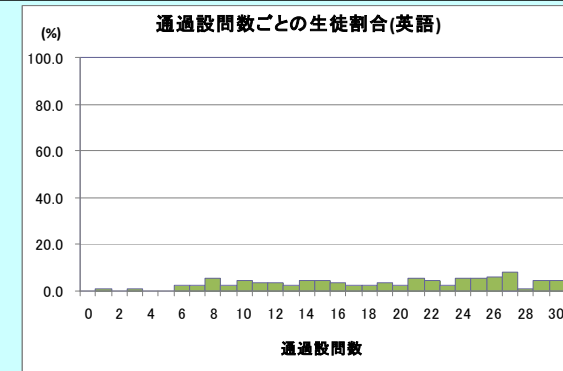
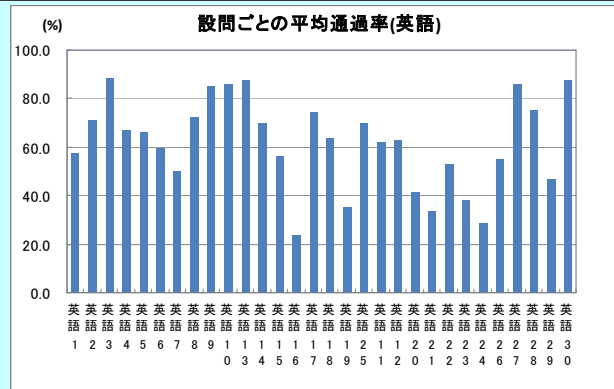
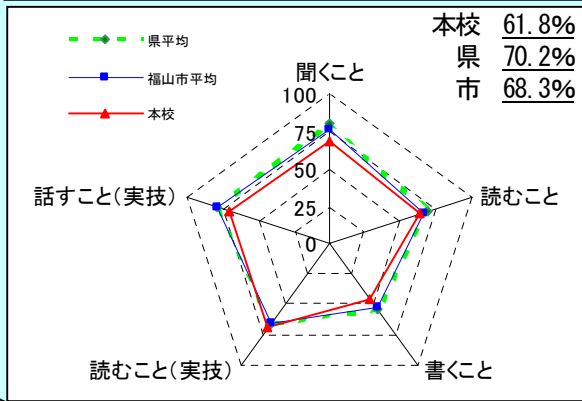
## 昨年度課題

- ①【◎】領域「書くこと」S+Vの英語の文型が理解できていない。また、be動詞と一般動詞の区別が理解できていない。
- ②【◎】領域「読むこと」内容を読解するには、文法・構文・語彙の力が必要であるが、「書く力」と同じように構文・語彙が不足しており文章が読み取れない。

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①授業において、英文を分析的に読むように指導している。特に主語と動詞を見つけられるように練習を行っている。
- ②語彙力の定着を図るため、全学年を通して毎日単語を100語以上書く取組みを実施している。また、毎月1回、そのためのテストを実施している。《本年度の目標値 基礎・基本調査において「書くこと」領域の通過率を50%まで引き上げる。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎曜日や日付などの必要な情報を聴きとるスキニングの能力が身につけていない。(通過率 72.6%, 50.4%)
- ◎流れを意識した英文の理解やつながりのある英文を書くことが定着していない。(通過率 28.3%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

### 【英語科】

- ① 英語の授業において、曜日や日付を意識して聴きとるようにする。また、thirteen と thirty, Tuesday と Thursday のような、生徒が混同しやすいものは特に明示的に指導し、生徒自らが発音したり話したりすることによって身につけるようにする。
- ② 指示代名詞に着目させながら、文と文の間にどのような前後関係があるのかを考えさせるよう工夫を施したい。文の並べ替えを行ったり、会話文のあとにどのような会話が続くのかといった問いかけを行っていきたい。

### 【全校・他教科等】

- ・1分間スピーチで、流れを意識した文章を書いたり話したりするよう指導する。
- ・定期テストで条件英作文を出題し、表現力の向上を図る。

## 取組みの検証

- 時期 10・12・1・2・3・4月 ○目標値 通過率65ポイント以上
- 方法 定期テスト・単語テスト

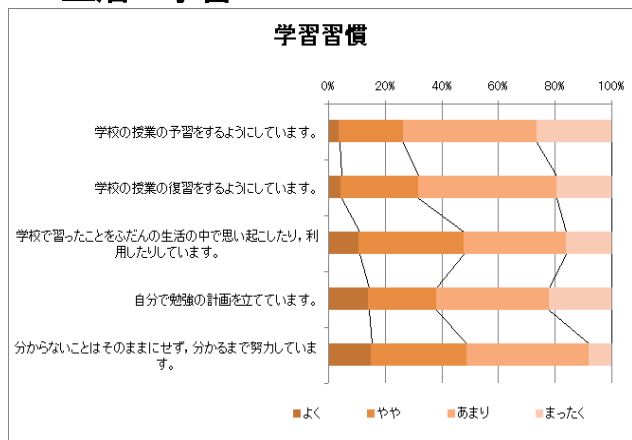
## 来年度の目標値

- 聞くことの通過率を70%以上にする。
- 書くことの通過率を50%以上にする。

# 授業改善シート〔質問紙調査〕

校番(21)番 福山市立駅家中学校

## 1 生活・学習

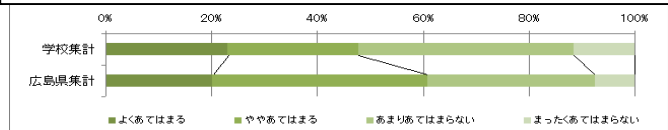


改善したい点(◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
◎学校の授業の復習をしている生徒や分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している生徒が少ない。 ◇学校の授業の復習をしている生徒や家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している生徒が少ない。	◎予習や復習をする習慣をつけるために、次時に活用できる課題を出す。また、課題ノート（復習ノート）の提出を今後勧めていく。 ・家庭学習の習慣をつけさせるために、現在取り組んでいる毎日の課題（計算プリント、英単語、漢字）を継続していく。

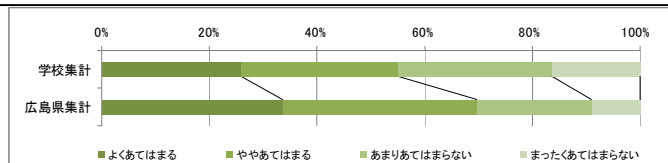
来年度の目標値	
	・3つの課題で家庭学習の習慣を身に付けさせる。それに加えて、基礎・基本調査において「学校の授業の復習をするようにしている。」の肯定的な評価を、本年度に比べて10ポイント以上上げる。

## 2 教科学習への意識

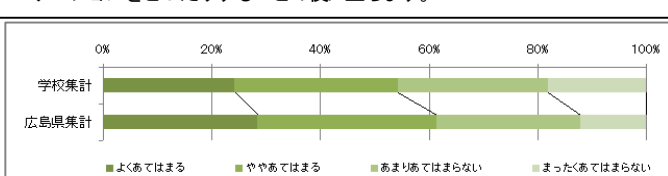
国語の授業では、物語などの文章を読むときには、場面の様子や移り変わり、人物の気持ちを表現している言葉や文に注意して読んでいます。



数学の授業で学んだことが、普段の生活の中で使えそうだと思うことがあります



英語の授業で学んだ事が、他の教科や生活の中で読んだり、話したり、コミュニケーションをとったりすることの役に立ちます。



	生徒の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎物語などの文章を読むときに、人物の気持ちを表現している言葉や文に注意して読むことに肯定的な回答をしている生徒が過半数に満たない。 ◇長い文章を読んで問題に答えるということが難しいと考えている生徒が多い。問題文を読むことで精一杯で、問いに適切に答えることができない。	◎文学的文章の指導で、情景や心情の描写に、傍線を引くなど、注目させ、登場人物の心情をじっくり考える時間をとる。 ◇長い文章を読み慣れさせるとともに、問いが何をさしているのか的確につかむ指導を図る。
数学	◎数学の授業の分かりやすさは3分の2が肯定的回答であり、前年度よりも上がっている。数学の授業で学んだことを、普段の生活の中で使えそうだと思っていない。 ◇数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用することに気づいていない。	◎◇授業の中で、生活に生きる教材を使う。学習したことを、いろいろな場面で生かせることができる課題を提示し取り組ませる。
英語	◎辞書を使って分からない単語や熟語を調べることにについては、肯定的な回答が県の平均を上回っている。その一方で、授業で学習する内容が実際に用いられている英語と乖離していると捉えている生徒が多い。	◎それぞれの単元で学習した文法や表現が、実際の英語ではどのように使われているのか提示することによって、授業と実際に使われている英語がつながっていることを理解させる。

来年度の目標値	
	・教科の学習が生活の中で、役に立つことを実感させるように、授業内容を工夫し、「学習した内容が、生活の中で役に立つ。」項目の数値をプラス5ポイントにする。 ・各教科、辞書を使って調べさせることによって、「辞書を使ってわからない単語や熟語を調べる。」ことの項目をプラス5ポイントにする。

# 授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番( 21 )番 福山市立駅家中学校

